

道路の課題・ニーズを踏まえた 道路整備事業の検討

1. 背景

静岡県における道路事業

- 県の道路予算は、新たな道路整備(バイパス・道路拡幅)だけでなく、維持管理や国事業への負担金などで構成し、様々なニーズ・課題に対応

道路改築事業



新たなバイパスや狭あいな道路の拡幅など

直轄負担金



国が進める広域的道路整備への費用負担

防災・災害復旧事業



災害復旧や災害を未然に防ぐ道路防災対策

交通安全事業



歩道の整備や防護柵の設置による安全対策

道路維持事業



道路の機能を維持するための日常管理

その他



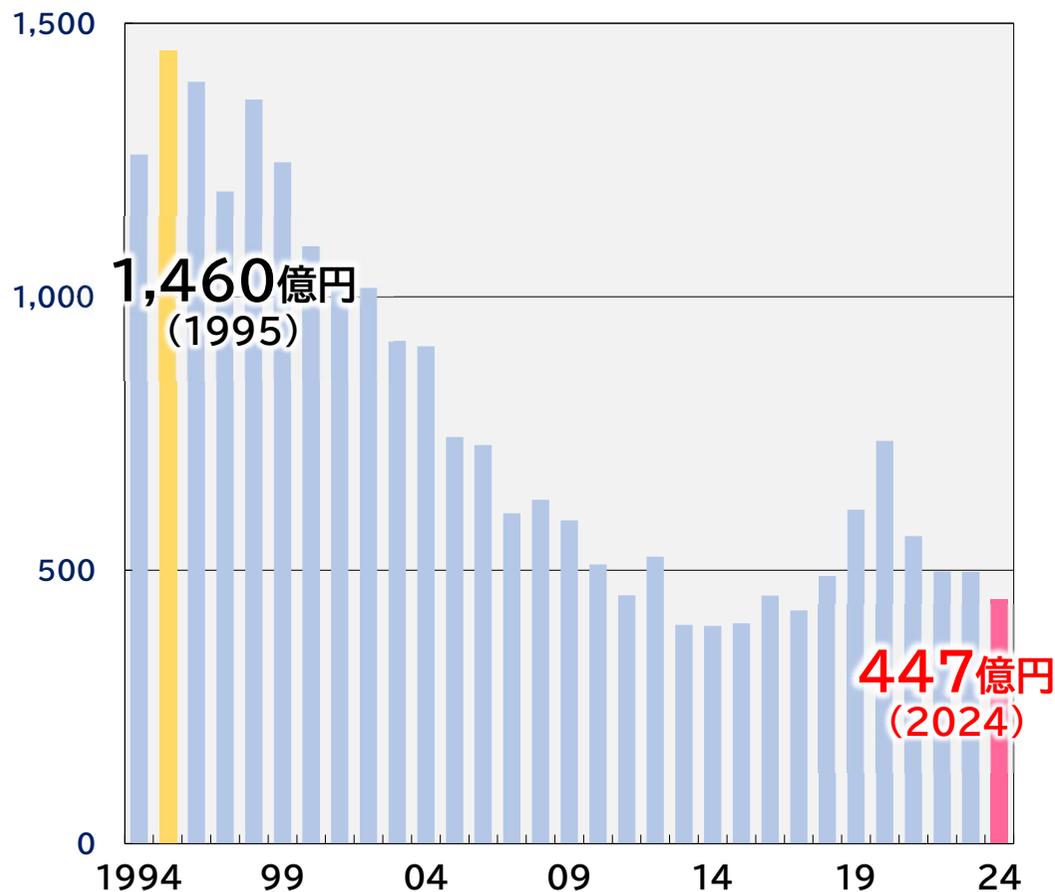
道路管理に不可欠な台帳の整備

1. 背景

静岡県道路予算の状況

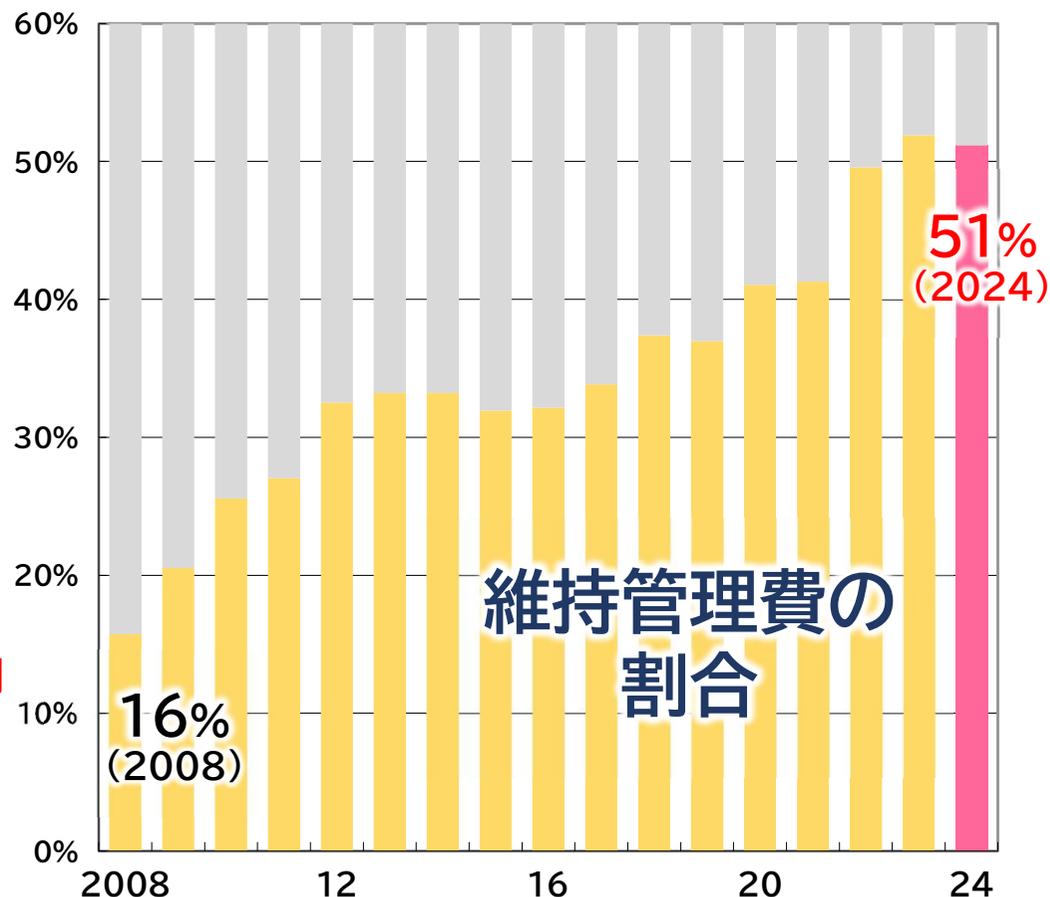
- 県道路予算は、447億円※であり、ピーク時から約1/3にまで減少
- 新たな道路整備に必要な道路改築費が減少し、維持管理費の割合が増加

静岡県の道路予算の推移



※2024年度は当初予算
※2023年度以前は最終予算

道路予算に占める維持管理費割合の推移

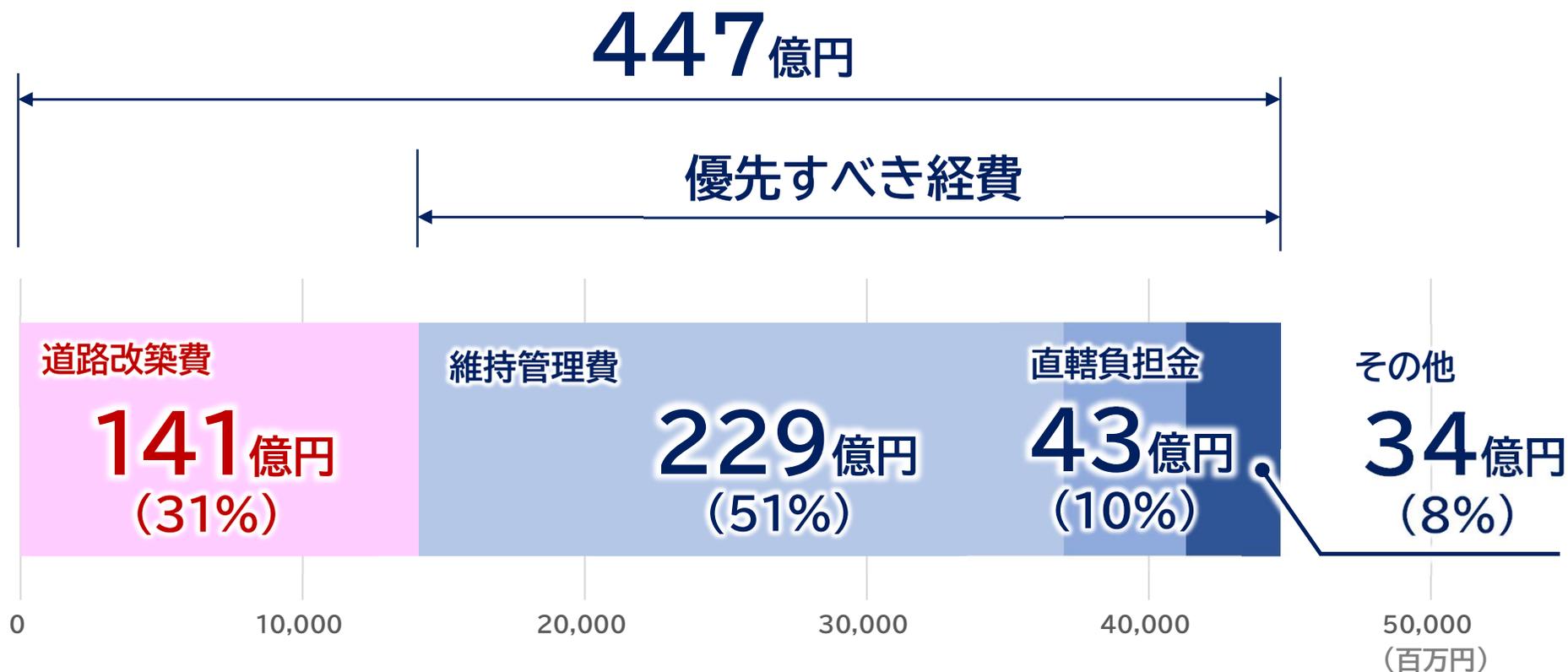


維持管理費の
割合

1. 背景

静岡県の道路予算の状況

- 2024年度予算のうち、維持管理に必要な経費や国事業への負担金など優先すべき経費が約7割を占め、残りの3割で新たな道路整備・既存道路の改良を実施



- ・ 道路改築費：道路改築・交通安全対策
- ・ 維持管理費：舗装補修・緒寿命化対策・道路防災対策
- ・ その他：政令市交付金

1. 背景

取組方針（ふじのくにのみちづくり）

- 広域的道路ネットワークの形成や維持管理費は優先的に確保し、事業の選択と集中を徹底
- インフラのストック効果が最大限発揮できるよう、活用(いかす)、保全(まもる)、整備(つくる)のバランスをとる「道路マネジメント」を推進

県民ニーズ

- 社会情勢や価値観の変化、ニーズの多様化により、県に寄せられる道路に関する意見は、増加傾向
- 限られた予算の中、地域のニーズを的確に捉え、効果の高い道路整備が必要

県に寄せられた道路に関する県民意見



地域のニーズを的確に捉えた効果の高い道路整備

2. ニーズや課題を捉えた道路施策

生活に身近な道路対策

- 県では、2001年度から身近な道路における課題解決に向け、交通の円滑化や歩行空間の確保など、即効性のある道路整備を実施

年度	主な出来事・社会課題	主な視点	主な対策内容	事業名
2001		交通円滑化対策	・ 交差点改良	交通円滑化緊急対策
⋮		⋮	⋮	⋮
2015 2016	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沼津市内で通学児童を巻き込む交通事故 ・ 災害の激甚化 	通学路の安全対策 孤立地域の発生防止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行空間整備 ・ 道路防災対策 	安全・安心緊急道路対策
2017 2018	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピック自転車競技の県内開催決定 	歩行者の安全対策 サイクリング環境整備 美しい景観づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行空間整備 ・ 側溝改修 ・ 修景伐採 	「安全・快適の道」緊急対策
2019 2020	<ul style="list-style-type: none"> ・ 菊川市内で通学児童を巻き込む交通事故 ・ オリンピック開催(自転車競技) ・ 県西部地域で台風による大規模停電が発生 	歩行者の安全対策 サイクリング環境整備 停電対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行空間整備 ・ 側溝改修 ・ 転落防止 ・ 法面对策 ・ 予防伐採 	「暮らしを守る道」緊急対策事業
2021 2022	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの蔓延 	通勤・通学路の移動空間の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行空間整備 ・ 自転車走行空間整備 ・ 沿道防草対策 	「新しい生活様式」に対応した道路環境整備事業

3. 現在の事業 (2023-2024)

“人・地域をつなぐ道”緊急対策事業

- ライフスタイルの多様化や地方回帰の流れの加速化により、観光や移動・交流に対するニーズが変化
- 「選ばれる」地域づくりに向け、安全な移動空間などの道路環境整備

現
状

移動ニーズの変化

- コロナ禍により、密を避ける徒歩・自転車による移動ニーズが増加
- 一方で、本県の交通事故発生割合は、依然として高い

観光ニーズの変化

- 大量消費型のマストツーリズムから地域の魅力を再発見するマイクロツーリズムのニーズが増加
- コロナ禍で落ち込んだ観光消費・交流客数がV字回復

働き方・暮らし方の変化

- コロナ禍によるテレワークの浸透により「新しい働き方・暮らし方」が定着
- 地方回帰の流れが加速化し、本県への移住者・移住相談件数が増加

対
応

移動ニーズ変化への対応

- 安心して移動・交流できる環境整備



観光ニーズ変化への対応

- 地域の個性・魅力の向上
- 修景改善やサイクリング環境の整備など、景観形成や道路環境を活かした地域の磨き上げ



地方回帰への対応

- 地域の交流促進を促すため、地域の拠点へのアクセスや案内を改善
- 安心して地域を訪問できる環境整備



4. 今後の施策立案に向けて

御意見をいただきたい事項

- 引き続き、地域の課題やニーズに対応した道路整備が求められている
- 今後の新たな道路施策立案に向け、多角的な視点から御意見をいただきたい

- 道路に関する課題・ニーズ
- 道路整備の視点や事業メニューの提案
など

